

独自発想と製品開発力で 多様な調剤機器を提供

企画力
自信有
オンリー
ワン技術
量産
対応



独自製品の軟膏ミキサー「マゼリータ」

業務内容 医療現場の要望に応え 作業効率化に貢献

「大同化工」は設立以来、病院薬局（調剤所）など調剤現場の要望に応える各種薬剤・調剤機器を開発し、多様な「調剤便利機器」を医療現場に広く提供している。他社メーカーにはない独自開発のヒット製品「軟膏混練機 ツインマゼリータ」は、種類や質量など異なる2種の軟膏を同時に混練。顧客の作業効率化に貢献している。

また、同社は技術系の人材確保や教育にも力を注ぎ、設計・製造技術を高める体制作りを推進。主に海外で部品の製造や調達を行い、国内では設計と組立を手がける。平成30年10期の売上高は約5億8,000万円、最終利益が約1億円となり、年々着実な成長を遂げている。

強み 顧客目線を重視し 創意工夫で満足度高める

独自の発想力と卓越した製品開発力を強みに、医療現場が求める多様な調剤機器を創出してきた。少数精鋭のメンバーと経営者が一体となった開発を行い、時代の変化に柔軟かつ俊敏に対応。技術やコスト面だけではなく、作業者の「使いやすさ」を重視してきた。

平野晃社長は「常に顧客目線のものづくりを大切にし、微妙な工夫を付加することで満足を与えている」と語る。小型便利グッズにはインターネット通販を駆使。大型製品では営業マンが丁寧な説明を個別に展開するなど、受注形態にも顧客重視の工夫を凝らしている。

製品開発 高付加価値製品の開発で 差別化戦略を実践

同社では付加価値を付けた製品開発により、他社との差別化を図っている。通常の研究

開発はもちろん、従業員参加型の開発会議では、各々が市場から得たニーズやアイデアを持ち寄るといふ。決定した開発テーマには資源を集中し製品化を加速。大学や公的研究機関との連携にも取り組む。

一方、生産現場では創意工夫による工程管理や改善力を入れる。部材製造や調達などでグローバル化が進む中、技術力に優れたサプライヤーを発掘するとともに信頼関係を築いていく。同社独自の視点による高付加価値製品の開発を進めることで、ニッチ市場で優位な展開を続けている。

今後の展望 電気制御を内製化し 調剤工程の自動化を目指す

将来的には海外市場への展開も視野に入れるが、「企業規模の拡大には走らず、従業員に重きを置く堅実な経営を進めていく」との考えだ。製品開発では混練や分包といった調剤工程の自動化を目指していく。業界ですでに存在する自動化製品は大病院が扱う高価なものであり、同社では町の薬局が導入できるような安価な製品づくりを掲げている。そのためには「電気制御分野に精通した外部人材を求め、製品の制御系基板製作を内製化する必要がある」という。卓越した機械技術に電気制御技術を加えることで、さらなるコストダウンを視野に入れている。



組立後の
動作検査



医療現場で活躍する各種調剤機器

当社の歴史



昭和34年の創業以来、60年にわたり医療産業界一筋に「お役に立つものづくり」を手がけてきました。「技術の大同化工」と呼ばれる会社を目指し、「善き心の人よりのみ 良品が生まれる」をモットーに利便性や耐久性、品質管理など、使用者のニーズを考慮した製品開発に努めています。

代表取締役社長 平野 晃さん

<http://www.daido-kako.com/>

主な事業内容

病院薬局への各種薬剤・調剤機器の製造・販売

主な取引先(納入先)

各種薬局、病院、大手医薬品卸業社

- 住所 〒570-0016 守口市 大日東町34-2
- TEL 06-6901-1855
- FAX 06-6901-1910
- 創業 昭和34年4月
- 設立 昭和35年4月
- 資本金 2,200万円
- 従業員 19名

大版
30